

プレスリリース

2014年5月27日

BDP-105DJP, BDP-105JP, BDP-103DJP および BDP-103JP ファームウェアアップデートのお知らせ

OPPO Digital Japan 株式会社(本社:東京都港区)は、BD プレーヤーBDP-105DJP／BDP-105JP／BDP-103DJP／BDP-103JP および BDP-105D／BDP-105／BDP-103D／BDP-103 につき、さらなる品質向上を目的としてファームウェアのアップデートを実施いたしました。今後とも、当社製品をご愛用賜りますようお願い申し上げます。

BDP-105DJP／BDP-105JP／BDP-103DJP／BDP-103JP 機能追加の概要

- 本項目は、BDP-105DJP／BDP-105JP／BDP-103DJP／BDP-103JP 共通です。
- 内容は2014年5月27日現在のものであり、変更される場合があります。

今回のファームウェアアップデートについての重要なご案内

1. 本ファームウェアを適用する場合、過去にリリースされた正式版およびベータ版のファームウェアに書き戻すことができなくなります。本ファームウェアを適用しても、将来の正式版およびベータ版のファームウェア適用に支障はありません。通常の利用において、お客様が過去のファームウェアに戻す必要は一切ございませんので、OPPO Digital 社製品をお使いの際は常に最新のファームウェアをお使い頂きますようお願い申し上げます。
2. メジャーバージョンのファームウェアアップデートを適用する場合、ファームウェアアップデート後に工場出荷時にリセットする必要があります。ファームウェアアップデート後にリセットしないでご利用になると、不安定な状態となり正常な動作になりません。諸設定についてファームウェアをインストールする前にメモ等にご記入いただき、ボリューム値を含めた諸設定を行

ってからメディアを再生してください。

3. 本ファームウェアで追加された CPRM 機能および DTCP-IP 機能は、ライセンスの関係上 JP モデルとして出荷された個体のみでの対応となります。BDP-10X 系モデルの海外向け製品については CPRM 機能および DTCP-IP 機能はご利用いただけませんのでご了承ください。

機能追加の内容

1. スピーカー設定メニューのスピーカー距離から計算される音響伝播の遅延量演算のバグを修正しました。
2. BDP-10X 系モデルに対し認証された Netflix の最新バージョンへのアップデートを実施しました (Netflix は日本ではご利用いただけません)。
3. ベルリン・フィルハーモニーの展開する「デジタルコンサートホール」動画配信機能を追加しました。これにより、世界有数のオーケストラであるベルリン・フィルのコンサートを、HD クオリティのライブ映像または録画映像でお楽しみいただけます。
4. ギャップレス再生のパフォーマンスを向上しました。これにより 3 曲目を演奏開始する前に 2 曲目を 2 度再生する、などの問題が解決されています。また、WAV ファイル再生時に Gracenote の楽曲情報の取得ができないという問題も解決されています。
5. スピーカー設定メニュー内のユーザー設定 (サイズ, 距離, トリムレベル) が誤ってヘッドホン出力に対して適用されてしまう問題を解決しました。このファームウェアではアルゴリズムを修正し、ヘッドホン出力信号に対しスピーカー設定の変更が反映されないようになりました。
6. BDP-103JP および 103DJP に対してセーフティ機能を追加しました。これにより、SACD 出力フォーマットは出荷時設定では PCM が選択されるようになりました。これは、この 2 機種に使用されている DAC が、DSD 信号に対しボリュームコントロールを行うことができなかったためです。そのため、DSD ストリームを検出するとアナログボリュームのレベルは自動的に 100 に戻る仕様となっていました。今回のセーフティ機能により、DSD 信号を検出すると DAC に送る前に DSD ストリームは強制的に PCM ストリームとしてデコードされ、これによって SACD ディスク

を再生する場合でもボリュームコントロールが利くようになりました。

7. BDP-103DJP および 105DJP で、フレームレート 50Hz/60Hz の解像度がサポートされるようになりました(HDMI1 出力に対し YCbCr 4:2:0 フォーマットのみ)。これに伴い、該当機種種の 4k x 2k 出力の工場出荷設定は「オート 4k 50/60Hz 4:2:0」となっています。
8. 機器設定メニュー内の「工場出荷設定に戻す」で、YouTube Leanback 機能のユーザーアカウント情報が消えないという問題を解決しました。
9. 電源投入後に「A/V 同期」データが同軸デジタル出力および光デジタル出力に自動的に適用されない問題を解決しました。
10. メディアセンター機能（ホームメニュー上の Music[音楽], Photo[写真], Movie[動画]のそれぞれ）に対するファイルのソーティングアルゴリズムを改良しました。これにより、これらの再生アプリで、ファイル名の冒頭か末尾に定義された数字を自動的に検出し、数字順にファイルの並べ替えを行います。トラックナンバーが記載されたアルバムでは、適切な曲順で再生が行われるようになりました。
11. PCM オーディオフォーマットに関して、352.8kHz または 384kHz/24bit のサポートが追加されました。(BDP-105DJP の USB DAC 入力使用時のみ)
12. 動画ファイルで使用されている、焼きこみ字幕でない独立の字幕情報に対し、表示タイミングの調節が追加されました。この機能は、USB メモリーや USB ハードディスクに収納した動画ファイルを再生するときに限り有効となり、オプション→字幕調節→同期と GUI 上で操作をしてください。
13. Mac OS X を使用して BDP-105DJP の USB 入力を利用した場合に、サンプリング周波数の切り替えに失敗する問題を解決しました。
14. Windows の USB DAC 用ドライバーソフトウェアの最新バージョン v2.22 を公開いたしました。このドライバーソフトウェアは、BDP-105JP, 105DJP と近日発売予定のヘッドホンアンプ HA-1(JP)に対して互換性があります。最新バージョンにアップデートする前に、必ずご使用のパソコンから旧バージョンの OPPO USB DAC ドライバーソフトウェアを削除してください。

15. BDP-105DJP, BDP-105JP, BDP-103DJP, BDP-103JP が CPRM および DTCP-IP に対応しました。

本 DTCP-IP 機能は各社レコーダーの全ての機能に対応することを保証するものではありません。

16. ディスク再生の全般的な互換性が向上しました。

BDP-105D／BDP-105／BDP-103D／BDP-103 ソフトウェアアップデートのご案内

- 上記の内容のうち項番 15 以外の項目につきまして、BDP-105D／BDP-105／BDP-103D／BDP-103 でもソフトウェアアップデートを実施いたします。
- 内容は現時点でのものであり、変更される場合があります。

以上

<会社概要>

社名：OPPO Digital Japan 株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山2丁目11番13号

代表番号：03-5759-4750

FAX 番号：03-6779-5481

Web サイト：<http://www.oppodigital.jp/>

オンラインショッピングサイト：<https://shop.oppodigital.jp/>

<お問い合わせ先>

【電話でのお問い合わせ】

TEL：03-5759-4750

受付時間：平日：11:00 から 18:00 まで

【メール・FAX でのお問い合わせ】

Mail：sales@oppodigital.jp

FAX：03-6779-5481

受付時間：年中無休・24 時間受け付け

【問い合わせフォームでのお問い合わせ】

<http://www.oppodigital.jp/contact/>

受付時間：年中無休・24 時間受け付け

※ プレス関係者様・販売店様はその旨ご連絡下さい。